

自分の役割、プラスα

副校長 藤田 健太郎

野庭すずかけ小学校に赴任して2か月が経ちました。元気な子どもたちと広くてきれいな校舎で気持ちよく過ごすことができます。



先日、ふれあい全校遠足が実施されました。天気が心配されましたが、当日は、見事な快晴のもとに実施することができました。ふれあい活動は、6年生の班長を中心に、異学年の児童で班を構成し、互いに思いやる気持ちを育むとともに、協力して活動することを目的の一つとして行っています。6年生が、1年生を気遣いながら先頭を歩き、5年生が一番後ろから班全体を見守って目的地の日野中央公園まで歩きました。どの学年の児童も、歩く時のマナーを守り、安全に気を付けて歩こうという気持ちが表れていました。日

野中公園でも班の仲間と協力しながら、活動を楽しむ姿が随所に見られました。「ただいまの会」でも子どもたちに伝えましたが、6年生はリーダーとして班のみんなを引っ張っていかうとする姿が、4、5年生は6年生のサポートをさりげなく行っている姿が、1～3年生は、高学年のお兄さん、お姉さんを信頼し、活動を安心して楽しむ姿が見られました。それぞれの学年の児童が自分の役割をしっかりと果たそうとしており、とても気持ちよく、すがすがしい遠足でした。今年度のふれあい活動はスタートしたばかりですが、今年一年、充実した活動になり、子どもたちの成長が期待できると感じました。



さて、本校の校舎は、野庭東小学校時代を含め、40年以上の歴史があります。新しいと言える校舎ではないので、作りは古くなってきています。しかし、その校舎や校地がきれいに保たれているのはなぜだろうと疑問に思いました。技術員さんが、毎日様々なところを清掃したり、修繕したりしているからきれいなのかと思ったのですが、それだけではなかったのです。きれいな理由の一つには、清掃活動の際に、任せられた場所を丁寧に清掃する児童の姿がありました。自分たちが担当する場所を表示して、自分の役割に責任をもち、みんなが使う場所をみんなのためにという思いをもって清掃する児童の姿はとても素晴らしいです。それだけではなく、子どもたちの登下校を見守ってくださっているボランティアの方が、子どもたちが登校する前に、校地の周りのごみを掃き掃除してくださっていました。様々な方が、学校の子どものために活動してくださっている結果、きれいな学校が保たれているのだと感じました。



みんなが楽しめる活動になるように、みんなが使う場所をみんなが気持ちよく使えるように、一人一人が思いを込めて、相手を思いながら、プラスαの活動ができる野庭すずかけ小学校の子どもたちのすばらしさ、地域の方のお心遣いが、きれいで気持ちのよい学校をつくっているのだと感じました。これからも、お互いを思い尊重し合える子どもたちの成長を保護者、地域の方々とともに見守っていける学校をつくっていきたいと思いますので、ご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。